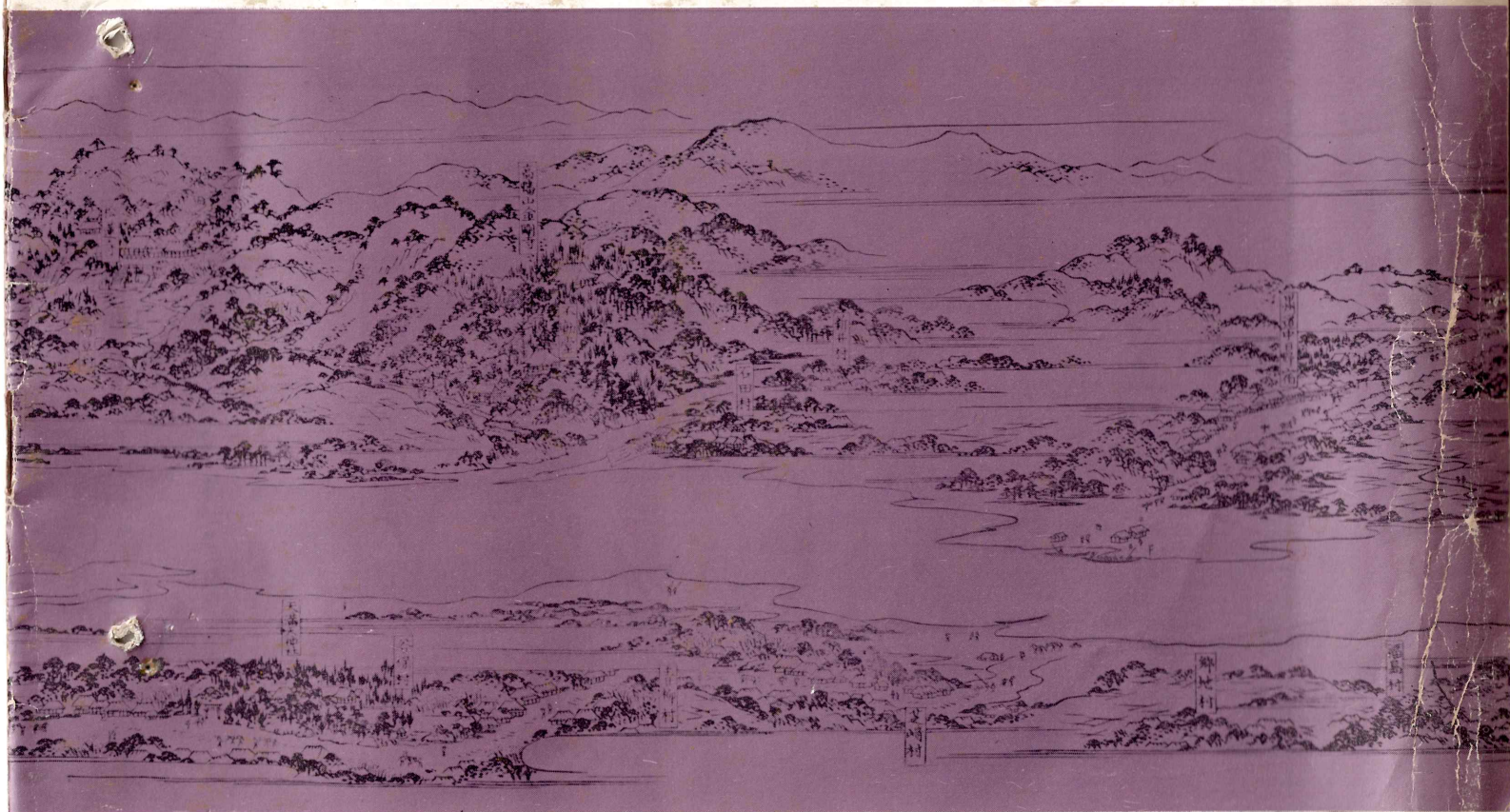


市勢要覽

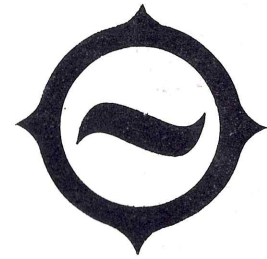
ひの



1963・11

沿 革	1 P
人 口	3
財 政	5
建 設	9
社会福祉	10
衛 生	12
教 育	13
治 安	14
観 光	15

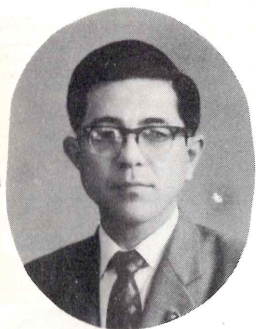
市 章



日野の日の字を丸くして、
炎の如く燃えさかり発展し
て行く様を象徴している。

日野市誕生について

市長 古谷太郎



旧日野町と旧七生村が合併してから既に5年、その間急速なやぐ進をつづけて参りました日野町に、愈々待望の市制施行を見るに至りましたことは市政を担当するものとして感激この上もないことであり、一層責任の重大性を痛感するものであります。

当市の占める旧日野町と旧七生村の歴史は古く天武天皇和銅年間の記録が残されておりますが、遠い古のことは別と致しましても過去10年の歩みを顧みるとき実に長足の進歩のあとが見られ、文字通り日野市やく進の状況が伺われるのであります。

御案内の通り今から10年前は日野町、七生村と云う一町一村各々別々の自治体でありましたが、当時の人口は25,433名でありましたが今では55,182名となりました。財政規模におきましては当時の1億2千万円から本年度予算は実に11億を突破しております。更に産業生産の額に至りましては当時の88億から本年度予想は550億に昇っております。こうした発展の中に今は亡き幾多の功労者を初め朝野の指導者の方から寄せられた御厚意と御指導が今日を築き上げたことに思いを致すとき改めて敬意と感謝を捧げるものであります。

御承知の通り日本は今、新産業都市建設によって産業と人口の再配置を行おうとしております。我が日野市は先に首都圏市街地開発地域の指定を受け、昭和36年には都市計画の策定を行い事業を進めております。しかしながら交通、通信の発達に愈々地球を狭いものに致しますして、これからの政治、教育、その他これ等に要する設備設計はすべからく世界的な視野の上に立ってなされなければならない時代に到来したと思うのであります。

広域行政が現実の課題となり、私が東部四ヶ村合併を提唱する所以もここにあるのであります。先般、日野町議会の議決を得た米国のレッドランド市との姉妹都市関係は、その後国際親善の度を一層深めて順調に進んでおります。私は、この感激的、歴史的な日野市誕生を祝福すると共に心を新たに、国土の建設につれて起り得る日野市の使命についての認識を新たに、更に大きな視野の上に立って夢を描き企画を進めたいと思うのであります。

日野市内外、大方諸兄の御理解と御協力をお願いして御挨拶と致します。



市政を祝して

市議会 議長 正 国 努

西に富士を望み南に多摩丘陵をもつ当町は、71年来の町に終止符をつけ昭和38年11月3日の文化の日を期して、市となったことは誠に意義深くわれら住民は挙げて心から祝福するものであります。

省りみるに昭和40年に行われる国勢調査の結果でなければ市になれず、しかも急激な人口の増加により一日も早く市にして貰いたい所から、自治法の改正を衆参両院に請願したのが昨年10月3日、爾来同志の大阪府下の門真町(8月1日市制施行)と北多摩の東村山、保谷の両町が一体となり、不断の運動を展開漸くにして去る5月22日参議院通過、又6月4日には衆議院を通過したものであり、全く結策と熱意による力の偉大さを今更ながら自覚するとともに、党派を超越して指導と推進をして頂いた、三多摩選出の国会議員諸氏に心から敬意を表するものであります。当日野は都市建設を目標としての行政運営がなされてきたのであるから、「市」としたほうがふさわしい、住民としてもこれからは市民的感觉と誇りがもて、あらゆる行政面についても市長の権限でできることが多くなり、経済的活動の面又商工業、農業、観光事業などにおいてもすべて上位であることは一般的の通念であることからすれば、その土地から生産される産物、経営等にも信用がつくとともにその広告価値が数段と高くなることは論をまたないところである。真にここらが焦点ともいふべきではあるまいか、名実ともに「市」となることも一に住民の努力次第であることは言をまたない。殊に政治を預る者が和の上に立つた英智と情熱の行政に俟つところ大なりと思うものであります。

市制施行祝賀感激の坩堝のなかにあつて、私は静かに惟うことは歴史とは人間が自然を征服していく姿であるとするならば、わが日野も「市」となる今日までの歴史を省りみて、祖先、先輩の自然を克服してきた姿が目にかび、その不断の努力によってできた基盤があつたればこそ日野市が生まれ、町民から市民となった喜びと誇りがあるのである。心から感謝の念が湧くと共に議会は更に一段の情熱を以って、「市」造りに力を集中して応えなくてはならないと決意を新たにするものであります。

沿革

日野という名の起りは、古い昔、日野台あたりの地を多摩郡石津郷飛火野と呼んだ。この飛火野とは、のろし(烽火)のことで、国府が置かれた時代に烽火台が設けられ、和銅年間(文武天皇1250年)諸国の地名は嘉子二つを選んで名づけよとあって、これが火野となり、のちに日野と改めたと云われている。明治維新の大業により、江戸は東京と改まり首都となった。この頃から甲州街道は日ましにせわしくなり、飛脚や早かごが東へ西へ乱れ飛び、当時は旅館十余軒、多摩川の渡船場をもつ宿場町として栄えた。この頃は行政上の区域や、統轄が数度と変ったが、明治36年に当時桑田村と合体し、旧日野町の町政が施行された、又一方旧七生村は明治22年の村制施行に際し高幡、南平、平山、程久保、三沢、落川、百草の7ヶ村が合体し七生村となった。

地域の発展の足がかりをなした国鉄中央線は明治23年に新宿～八王子間が開通し、又一級国道20号線(甲州街道)の立川・日野を結ぶ日野橋は大正15年に架橋され、次いで京王帝都電鉄が同15年に七生地域を東西に貫通した。明治、大正、昭和の初期までは

農業を中心に繁栄し、それだけに人口は自然増加のみの時代であった。

これが昭和10年頃を契機として機械工業の進出が相つき戦前の10指に及ぶ工場が設立され、農村は一挙に工業都市へと様相を変えてきた。戦後の国内経済復興につれて立地的に恵れる当地へは大小合わせて97社が設立され、これに伴い人口は年々増加し、昭和33年2月1日の旧日野町・旧七生村の合併時には約3万の人口を数え、多摩平団地(日本住宅公団)の入居等により人口は急増昭和37年6月には人口5万を突破「早く市になるように」との声が多く聞かれた。

議会においても、この感情をいち早くとらえ住民の福利の増進と、将来における日野の発展と繁栄を図るために、昭和38年11月3日からの市制施行を議決した。

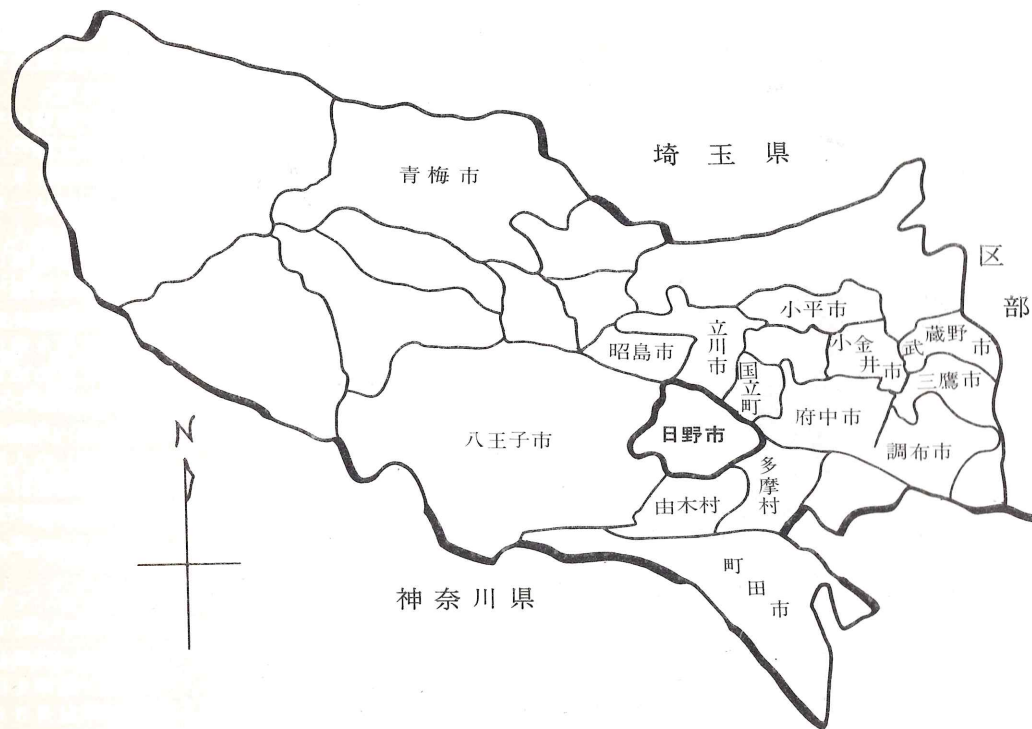


位置・地勢

本市は東京都政区域の西南部で都心より40kmの地に位し、北は多摩川を隔て昭島市、立川市、国立町、府中市に、西は八王子市、南は多摩丘陵を構え由木村、多摩村と相接している。

市の総面積は27.11km²、東西7.59km、南北5.85kmで市の中央部を貫流している、浅川及び北側を流れる多摩川の両河川は、当市の東南端において合流している。

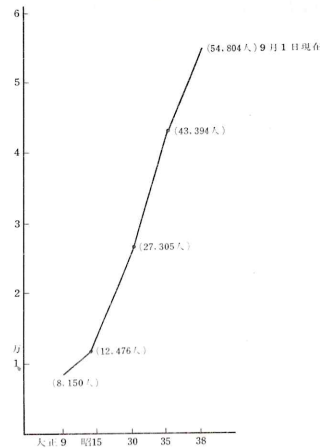
地勢は大体は平坦であるが、西南の台地と東部の平地にわけることができる。



人口

大正9年第1回国勢調査による人口は8,150人、これが昭和38年9月1日現在で54,804人に至り、この41年間に46,654人の増加をしめた。

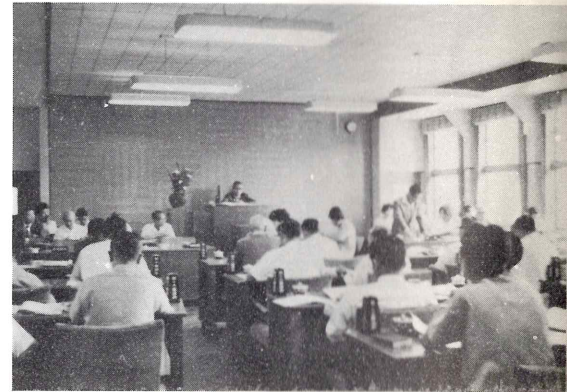
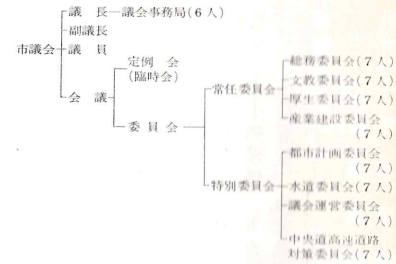
人口のうつきわり



行政

市議会は市の重要な事項を決議する意志決定機関であって、30名の議員をもって構成されている。市の事務を合理的、能率的に調査するために議会内部の審査機関として、条例で総務、文教、厚生、産業建設の4常任委員会が設置されており、議員はそのうちいずれかの常任委員会に所属している。

市議会の機構



市行政機構図

姉妹都市

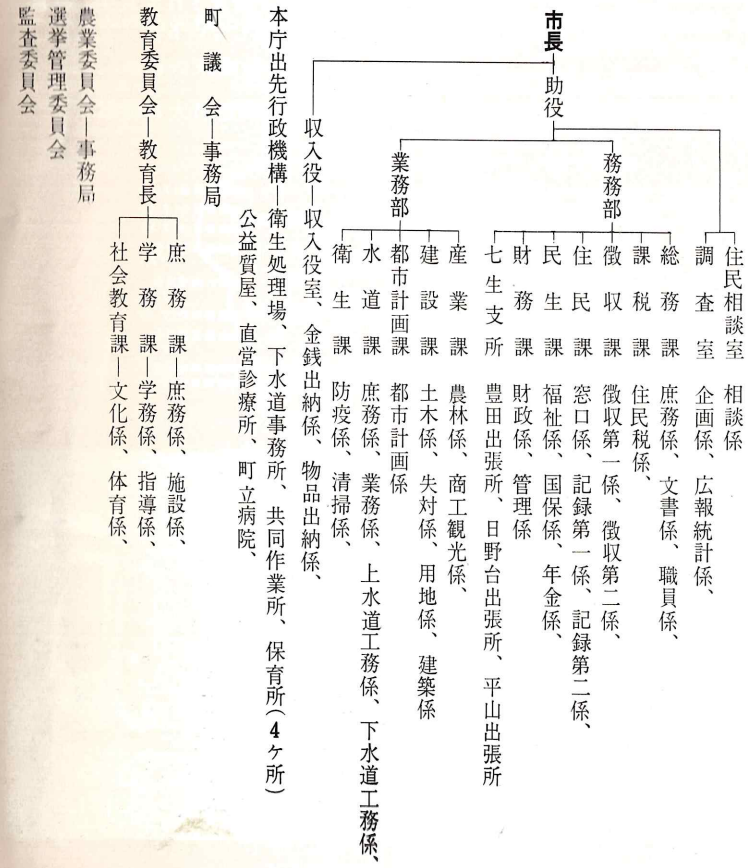


レ市の電話風景

THE TOYOTA PROGRAM - Highlight of the Month. The Director of the University of...
 ...and other representatives in Japan...
 ...with his comments on Mrs. ...
 ...while Sister City Executive Chairman...
 ...attended the Sister City program. Mrs. ...

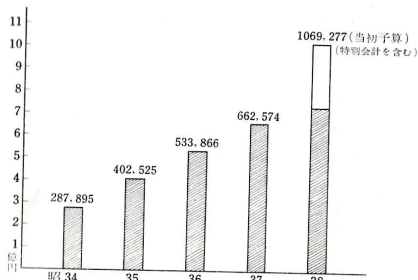


国際電話風景



財政

各年別予算
(単位千円)



昭和38年一般会計予算

才 入		才 出	
款 別	金 額	款 別	金 額
町 税	411,857千円	議 会 費	14,609千円
地 方 交 付 税	1	役 場 費	111,381
公 益 企 業 及 び 財 産 取 入	5	消 防 費	23,531
分 担 金 及 び 負 担 金	3,126	土 木 費	106,461
国 庫 支 出 金	145,912	教 育 費	304,111
都 支 出 金	3,428	社 会 及 び 勞 働 施 設 費	17,241
寄 付 金	1	保 健 衛 生 費	102,920
繰 上 金	56,000	産 業 経 済 費	11,846
繰 下 金	20,000	財 産 費	401
繰 越 収 入	8,960	統 計 調 査 費	1,264
繰 下 債	43,000	選 挙 費	2,000
		公 債 費	10,624
		諸 支 出 金	35,593
		予 備 費	4,248
計	746,230	計	746,230

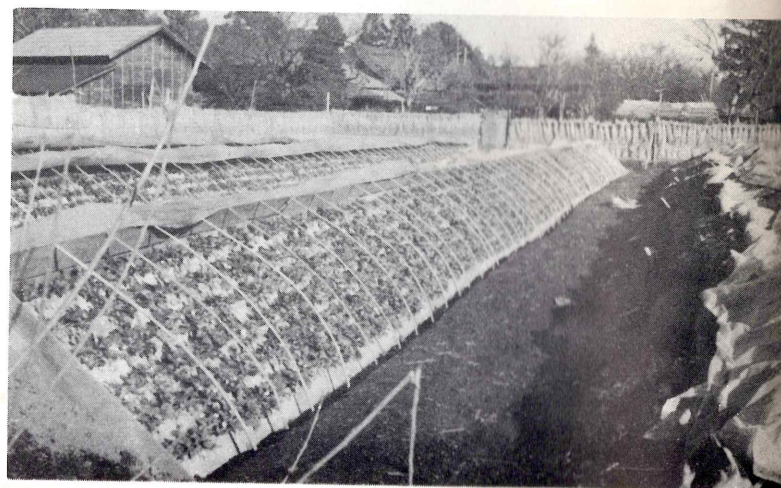
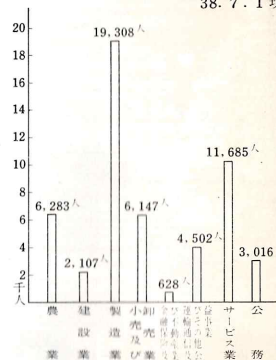
産 業



多摩川梨

産 業 別 人 口

38. 7. 1 現在



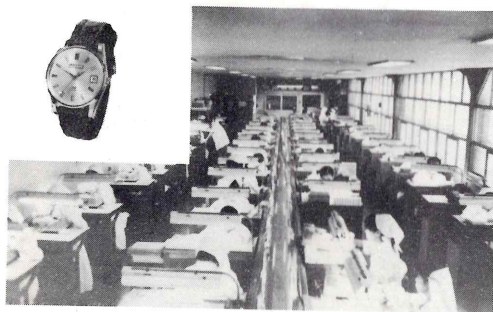
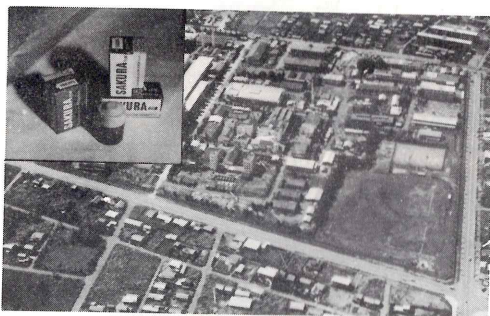
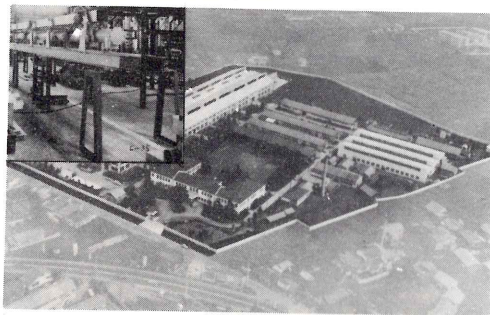
日 野 特 産 イ チゴ

商業



6

工業



神鋼電機(株)東京工場

所在地 日野市 野1565
 資本金 3000.00万円
 生産品目 変圧機
 従業員数 433人

小西六写真工業(株)

日野工場

所在地 日野市日野1838
 資本金 3000.00万円
 生産品目 フィルム
 従業員数 2,098

オリエント時計(株)

日野工場

所在地 日野市日野347
 資本金 600.00万円
 生産品目 時計
 従業員数 1,506人



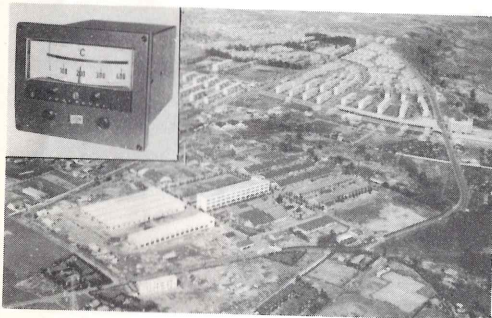
**日野自動車工業(株)
日野工場**

所在地 日野市日野7319
 資本金 6800.00万円
 生産品目 各種自動車
 従業員数 4,544人



吉河電機製作所

所在地 日野市平山19
 資本金 800万円
 生産品目 計量器
 従業員数 77人



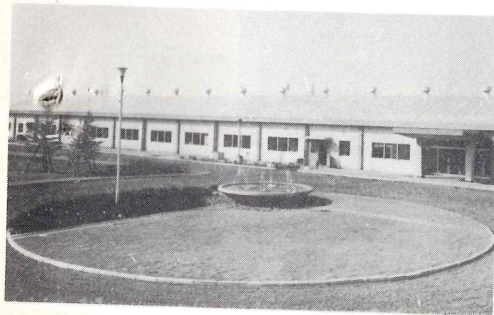
**富士電機製造(株)
豊田工場**

所在地 日野市豊田1880
 資本金 12600.00万円
 生産品目 工業計量機
 従業員数 1,800人



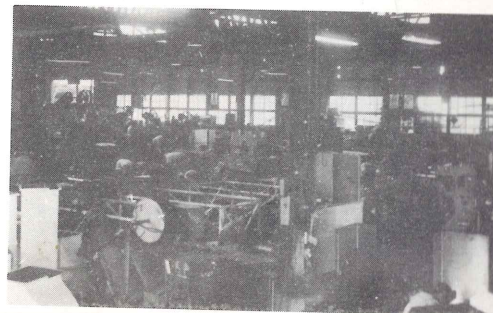
日本篩絹株式会社

所在地 日野市豊田685
 資本金 150.00万円
 生産品目 織物
 従業員数 240人



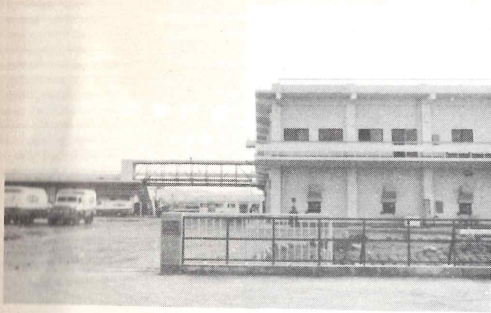
**東芝タイプライター
(株)多摩工場**

所在地 日野市西長沼1650
 資本金 150.00万円
 生産品目 タイプライター
 従業員数 453人



國産機械株式会社

所在地 日野市日野7319
 資本金 133万円
 生産品目 工作機械
 従業員数 133人



雪印乳業(株)日野工場

所在地 日野市日野753
 資本金 3200.00万円
 生産品目 乳製品
 従業員数 350人



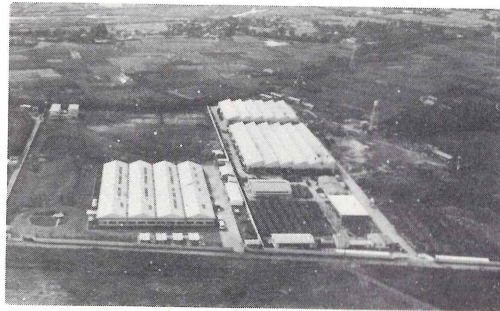
**フォスター電気(株)
日野工場**

所在地 日野市日野450
 資本金 150.00万円
 生産品目 精密機械
 従業員数 82人



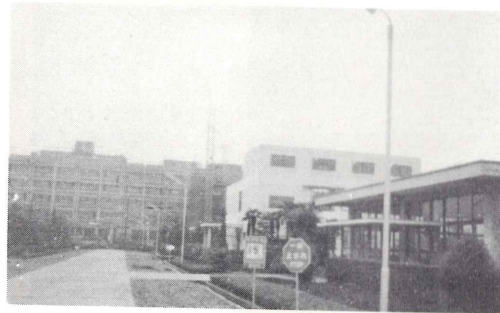
**羽田ヒューム管(株)
日野工場**

所在地 日野市日野1097
 資本金 200.00万円
 生産品目 高圧ヒューム管
 従業員数 209人



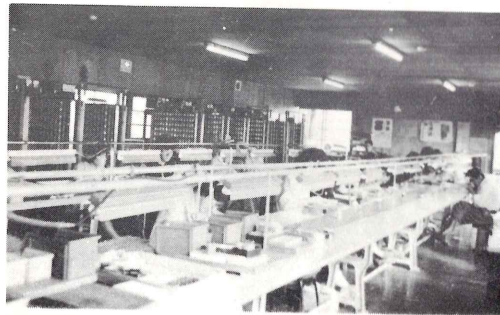
千代田自動車株式会社

所在地 日野市西長沼1571
 資本金 150.00万円
 生産品目 自動車部品
 従業員数 570人



帝国人(株)中央研究所

資本金 18900.00万円
 所在地 日野市平山18
 生産品目 繊維製品研究
 従業員数 100人

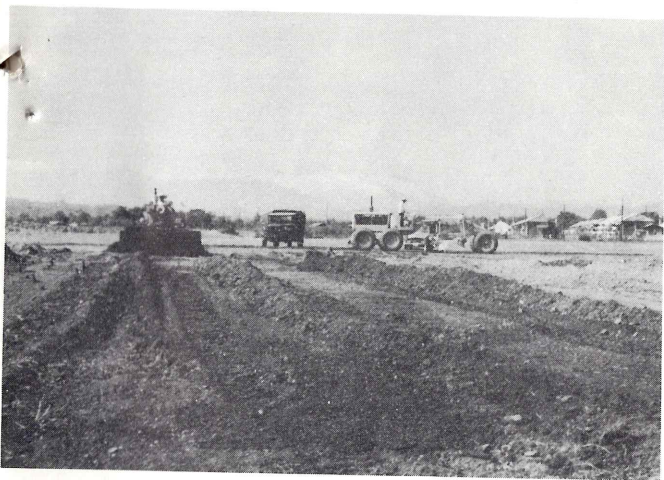


日東精密工業株式会社

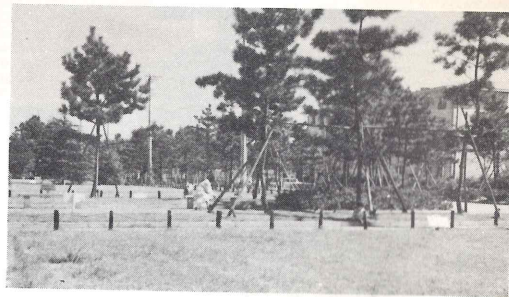
所在地 日野市日野619
 資本金 800万円
 生産品目 時計
 従業員数 120人

建設

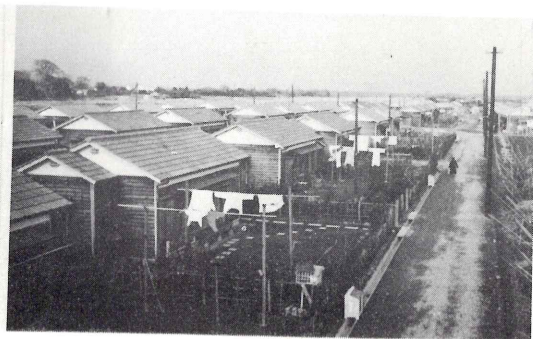
都市計画



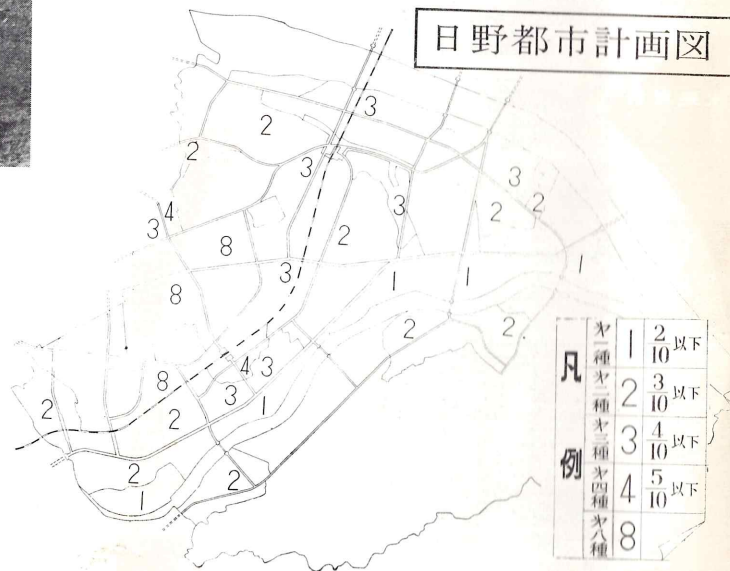
建設工事



多摩平公園



市営住宅



上水道

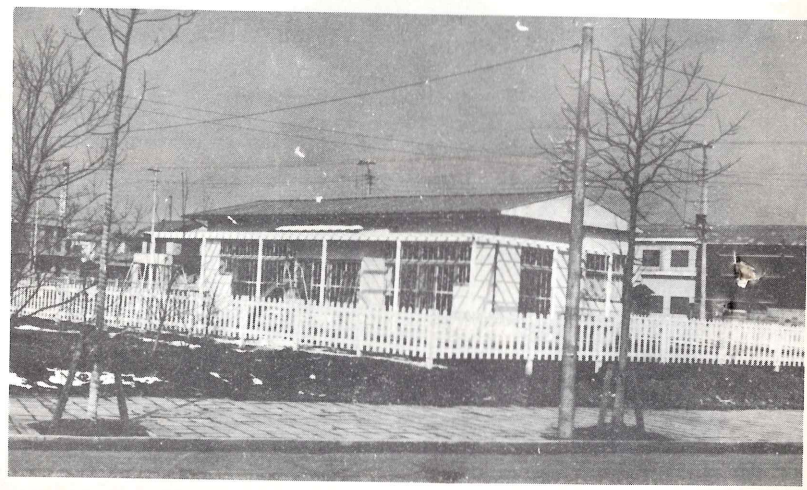
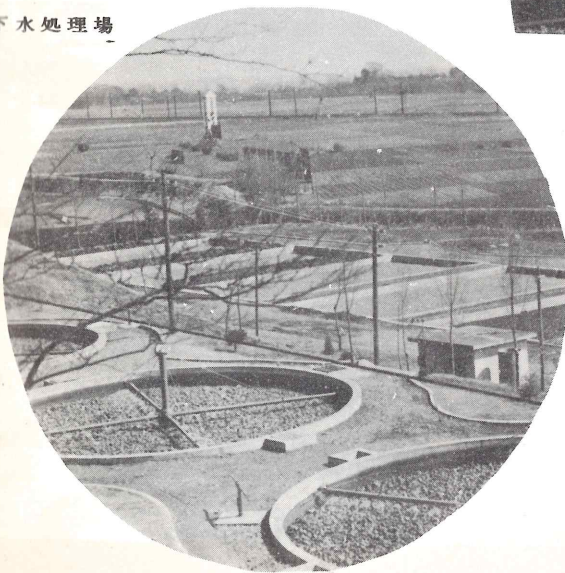
社会・福祉



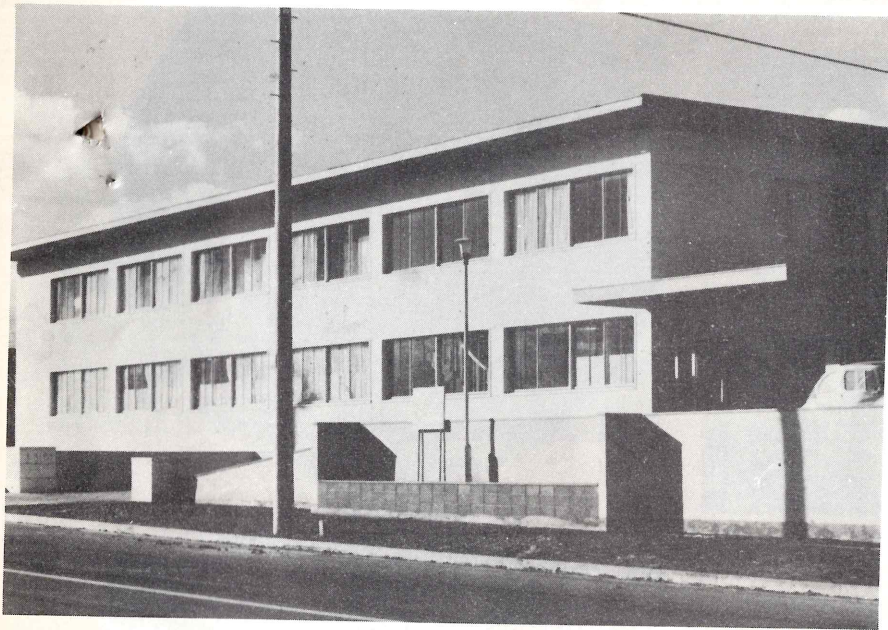
下水処理場



敬老金支給



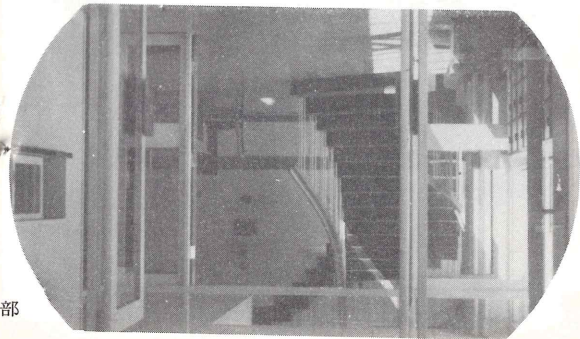
多摩平保育所



市立病院



予防注射



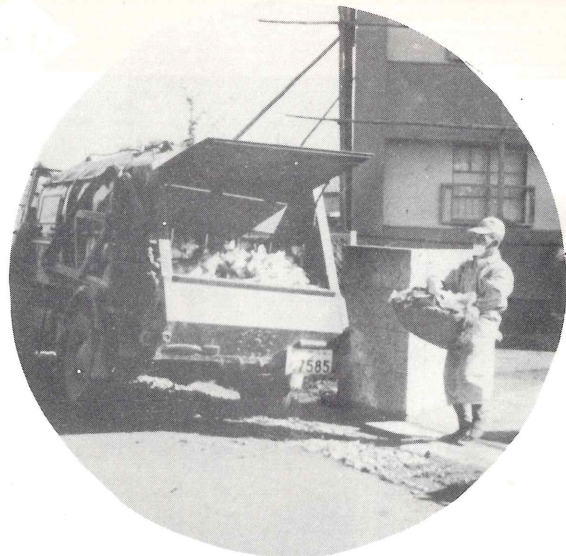
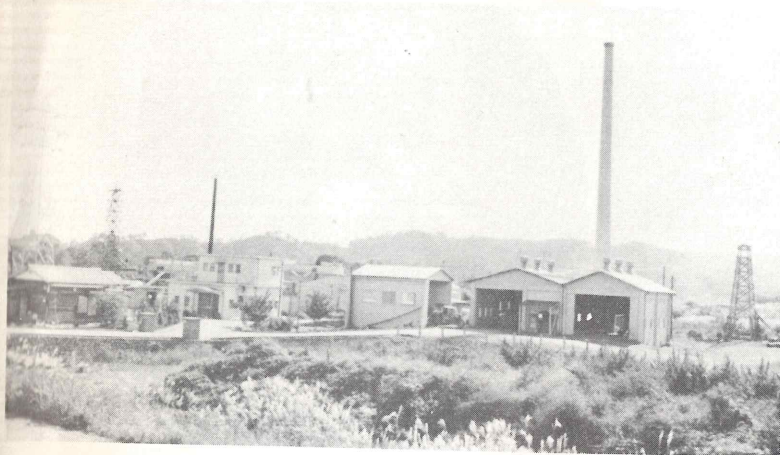
病院内部



乳児検診

衛生

衛生処理場

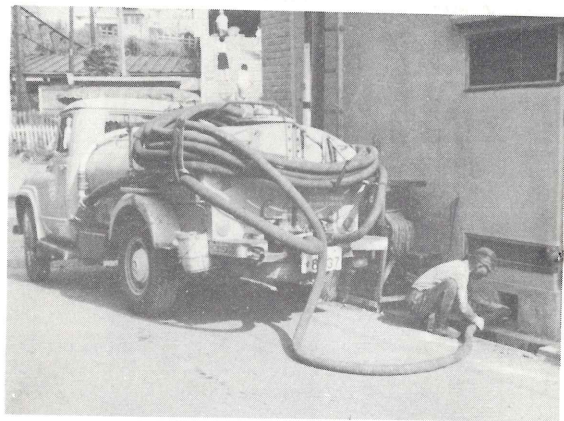


じん芥収集

駆除風景



12

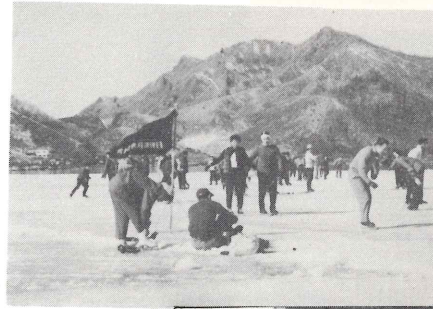


し尿収集

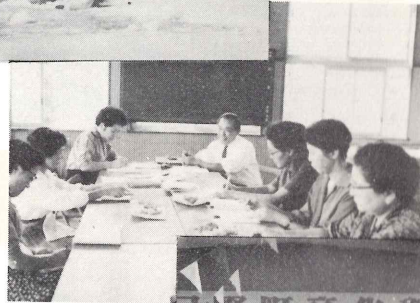
教育



防音校舎(市立一中)



スポーツ教室



婦人学級



プール



文化祭

治安

消防



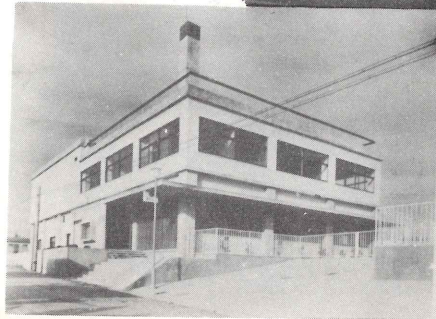
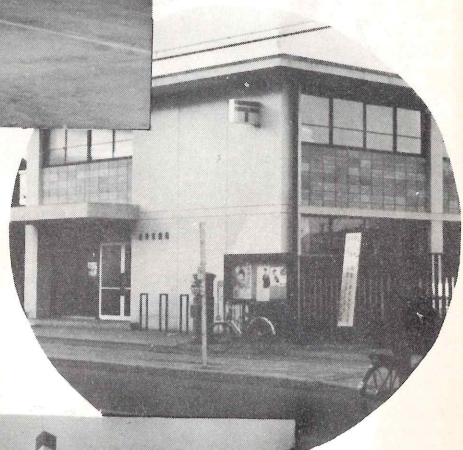
警察

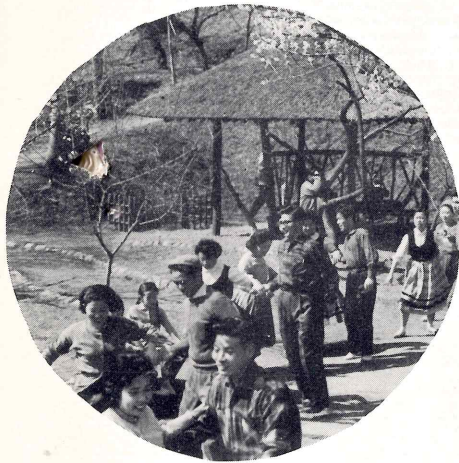


交通・通信



駅

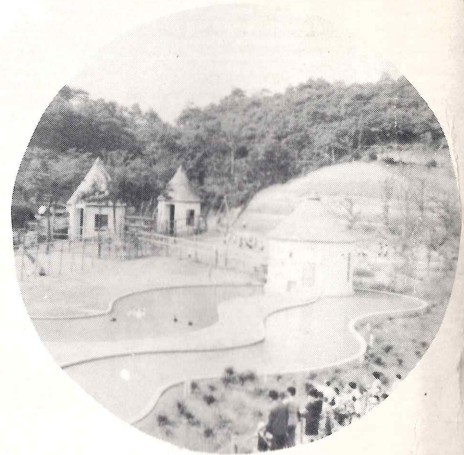




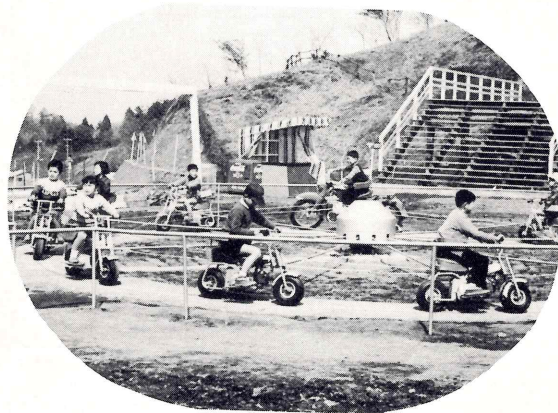
梅林におどる



高幡不動



多摩動物園



多摩テック



平山城趾公園

— 表 紙 —

明治初期における宿場町と
して栄えた日野宿周辺を描い
たものです。